

# 1. 毎日の健康

1-7

## 見えにくい

目の不調は、「単なる老眼」だけではないこともあるので、急激に症状が進むなどの時は、“歳のせい”と放置しないで早めに眼科で受診するようにしましょう。

### ○老眼

40歳を過ぎた頃から老眼は誰でも起きる現象ですが、生活のしづらさを改善するためにも自分にあった眼鏡使用は大切です。

### ○目の病気による視力低下

加齢にともなって起きる目の病気はいろいろあり、病気によっては失明の危険性をともなうこともあります。

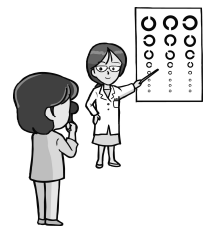
#### ◆代表的な目の病気

白内障・・・加齢によって水晶体が濁ってきて「もやがかかったように見える」症状が現れます。初期は点眼薬で進行を遅らせることができますが、日常生活に支障をきたすほど進行した場合には、手術も有効です。

緑内障・・・失明の原因にもなる緑内障は、眼圧が高くなり視神経を圧迫することで起きる病気ですが、正常範囲の眼圧でも緑内障が起こるタイプや、初期には自覚症状がほとんどない場合もあります。視力低下にともない目の痛みや頭痛、電灯などを見たときに虹がかかったように見えることで気づく場合もあります。

#### 加齢性黄斑変性症

・・・光を感じる網膜中央にある黄斑部分が変性を起こす病気です。失明原因になる重大な病気の一つです。初期には、物がゆがんで見える、左右の目で物の大きさが違って見えるなどの症状があります。



お問合せ先

西保健所 保健予防課

TEL.(052)523-4619 FAX.(052)531-2000